

# ファミリーデイキャンプ2024(冬)

## 活動報告



広島市青少年野外活動センター・こども村

2024/12/26作成

## 実施概要

### 【目的】

小学生を含む家族を対象に、豊かな自然の中での野外炊飯やクラフトなどの機会を提供し、人や自然との出会いを通じて、新たな価値の発見や心の成長を促すことを目的とした事業です。

### 【定員】 応募数

小学生を含む家族 9 家族

### 【応募数】

16 家族 58 人

### 【参加者】

6 家族 26 人

### 【告知の方法】

- ・ 市民と市政に掲載（令和6年11月15日号）
- ・ 青少年野外活動センター・こども村 WEB サイトへチラシの掲載
- ・ 青少年野外活動センター・こども村 FACEBOOK へチラシの掲載

### 【当日のスケジュール】

12月21日（土）	
9:30	はじめのつどい
10:00	火おこし体験
11:00	野外炊飯（豚汁）
14:15	小枝・葉・実を使ったクラフト
15:30	おわりのつどい



OUTDOOR ACTIVITY CENTER

# ファミリーデイキャンプ

in 広島市青少年野外活動センター・こども村

2024年12月21日（土）  
AM 9:30 ~ PM 4:00  
参加費 800円 / 人

定員9家族  
対象  
小学生を含む家族

お待たせしました！  
家族での自然体験探検プロジェクト  
「ファミリーデイキャンプ」のご案内です！  
家族みんなで野外炊飯をしたい、子どもたちと一緒に  
自然素材を使ったクラフトをしたい！といった人にお  
ススメする内容です。家族で1日遊びませんか？

受付 9:30から受付をします

場所 第3キャンプ場 炊飯場

内容 ・野外炊飯・クラフト 等

募集期間 令和6年11月1日～令和6年11月21日

申込方法 右の二次元コードから申し込む  
ことができます

申込者多数の場合、抽選となります。参加の可否はメールで  
お知らせします。内容は変更となる場合があります。

公益財団法人広島市文化財団  
広島市青少年野外活動センター・こども村  
〒731-1171 広島県広島市安佐北区安佐町小河内5135 TEL.082-835-1444  
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/yagai-ac/>

広島市 野外教育 検索

## プログラムについて

### ■はじめのつどい 担当：いっしー

(内容)

早めに来所された家族のために、ドラム缶の焚火を用意しました。家族で火を囲んだり、参加者（別家族）との簡単なコミュニケーションの場となったりしました。こどもたちは薪の入れ方や薪を入れるタイミングなどを教わったりしました。

はじめのつどいでは、スタッフの紹介や一日の流れの確認、活動時の留意事項等を確認しました。その後、参加者全員で集合写真を撮りました。



### ■火おこし体験 担当：シュガー

(内容)

第3キャンプ場の炊飯場周辺で火おこし体験をしました。参加者は火おこしのポイントや幼児と大人と一緒にできる火おこしの方法について説明を受け、家族ごとに火おこしに挑戦しました。ほとんどの家族が初挑戦でしたが、全ての家族が火を起こし、ランタンに火を灯すことができました。



### ■野外炊飯（豚汁） 担当：タッチー

(内容)

第3炊飯場でカセットコンロを使い、家族で協力しながら豚汁を作りました。また、ランタンの火を使ってかまどに火を起こし、焼きおにぎりを作りました。さらに、かまどの火が熾火（おきび）になってから、家族ごとにマシュマロを焼いて食べました。



■小枝・葉・木の実を使ったクラフト 担当：いっしー

(内容)

クラフトは、参加者が作ってみたいクラフトを選択する形式で行いました。小枝を使ったクラフトでは、桜の枝を使って好きな置物を作る小枝クラフトをしました。

葉を使ったクラフトでは、ヒノキやスギの葉、まつぼっくりや木の実を使いクリスマスリース作りをしました。

木の実を使ったクラフトでは大王松のマツボックリを使ったクリスマスツリー作りや小さなマツボックリを使ったミニツリー作りをしました。

家族と一緒に作品を作ったり、手分けをして作ったりして素敵な作品に仕上げ、楽しい時間を過ごしました。



## ファミリーデイキャンプでの初めての試みをご紹介します

今回のファミリーデイキャンプでは、初めての試みをいくつか行いました。

1つ目は、耐火煉瓦を利用したアウトドアクッキングです。青少年野外活動センターの常設のかまどでは、熱源と加熱できる場所が離れており、焼きおにぎりをうまく作るできません。そこで、耐火煉瓦を利用し熱源と加熱できる場所を近づけることで、じっくりと時間をかけておにぎりを焼くことができるように工夫しました。こどもたちも自分でおにぎりに醤油を塗って、焼きおにぎりを作り、おいしく食べることができました。

2つ目は、大王松のマツボックリを利用したクラフトです。大王松のマツボックリは近隣の小学校から譲り受けました。マツボックリは採集した後、いったん大鍋で煮沸消毒し、自然乾燥させて元の大きさに戻してから、カラースプレーで表面に塗装をしました。また、こどもたちが安全に工作をすることができるように、マツボックリの裏のトゲを1つ1つ丁寧に除去しています。煮沸・乾燥・塗装・トゲの除去に時間はかかりましたが、こどもたちが作品を作るために必要な作業です。当日はマツボックリの素材を生かした素敵なクリスマスツリーがいくつもできあがりました。

3つ目は、ヒノキやスギの葉を利用したクラフトです。ヒノキやスギの葉は所内で自生する木から採集しました。一見同じような葉は、木によって色合いや茂り方が異なります。そのため、クリスマスリースで使用するのに適した、色鮮やかで密度が高い葉を、見極め採集する必要があります。当日のクラフトでも参加者の方に、クリスマスリース作りに適した素材を材料の中から選びながら作成してもらいました。作り手の葉の選び方や並べ方、かざりの木の実の選び方や付け方によって、雰囲気異なる作品になることが、写真で振り返るとよく分かりました。

自然と向き合うと実に不思議で面白いことに気が付きます。我々職員もプログラムの開発をしながら自然について理解を深めています。そして、そういった気づきを、事業を通じて参加者の方々に還元できれば幸いです。

